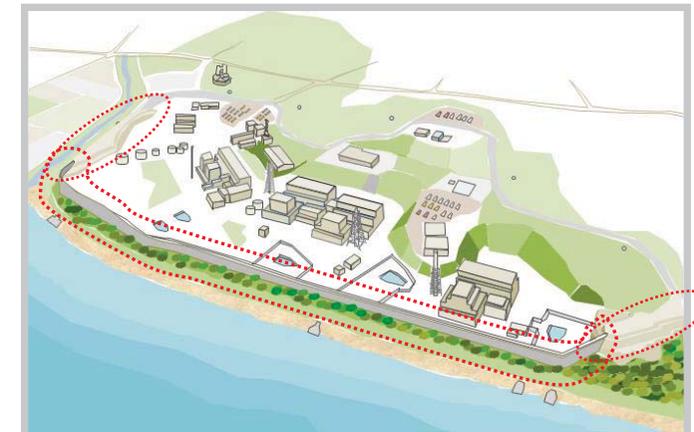


防波壁の設置(T.P.+22m) 発電所敷地東側西側盛土の嵩上げ(T.P.+22m~+24m) (1/2)

津波が発電所敷地内に直接浸入することを防ぐため、防波壁を設置するとともに、その両端部は盛土により地山に接続します。また、津波の局所的な集中を防ぐため、砂丘堤防の高さを海拔12m以上確保するよう嵩上げします。



◆防波壁

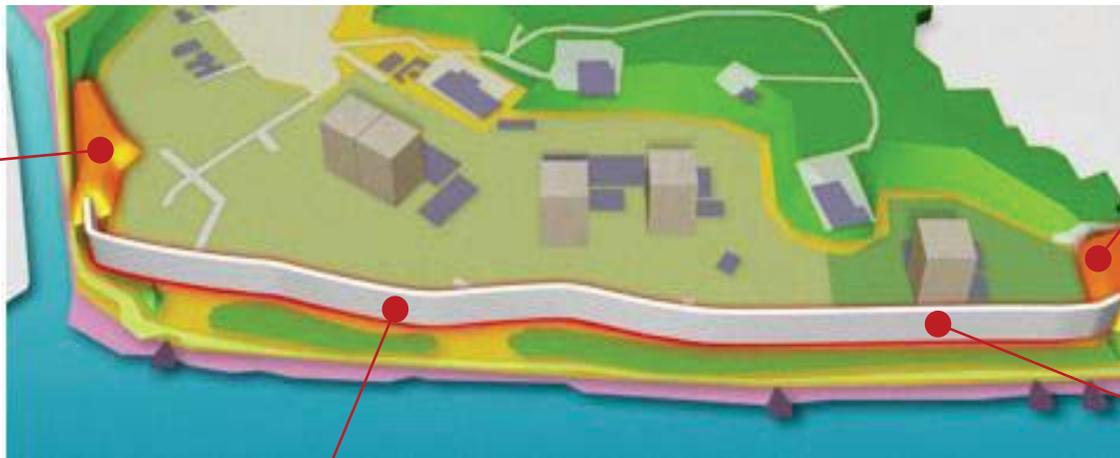
総延長 1.6 kmの内訳

- 一般部：約1,300m
- 西側端部：約170m
- 放水路部：約130m

防波壁の設置(T.P.+22m) 発電所敷地東側西側盛土の嵩上げ(T.P.+22m~+24m) (2/2)

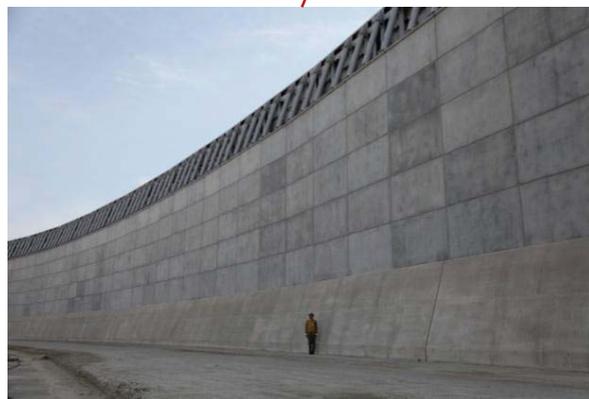
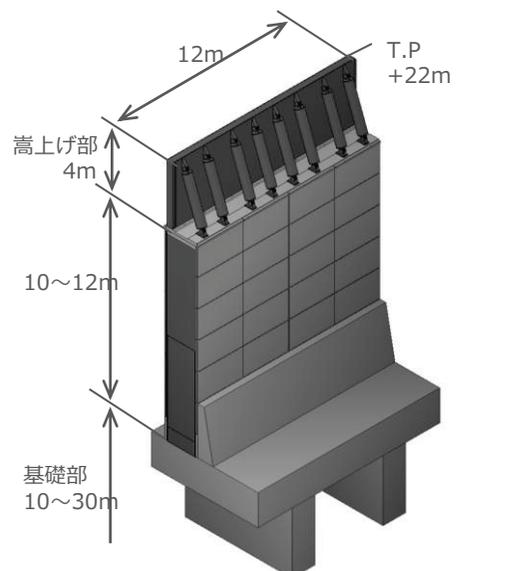


西側盛土



東側盛土

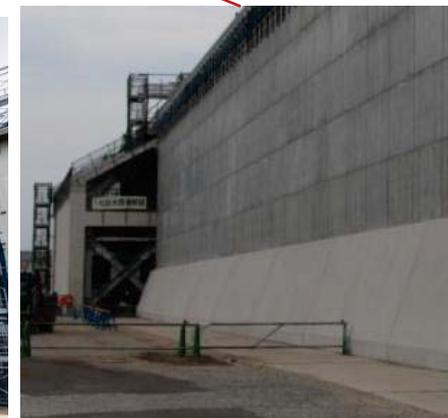
防波壁 (一般部) イメージ



防波壁(一般部)



防波壁嵩上げ工事の様子



防波壁(放水路部)